

## 1. 「地域社会の参加・協働による保全管理」への取組状況について (1) 住民アンケート調査について

### 調査概要

今後の世界遺産登録に関する施策や取組をより地域の実情に沿ったものとするため、やんばる地域（沖縄島北部）及び西表島の居住者を対象として、平成 29 年 9 月～10 月（11 月まで回収・集計）にかけて世界自然遺産登録に関する意識調査を実施した。

沖縄島北部では配布件数 4,673 件（全戸配布）のうち 462 件（回収率：約 9.9%）、西表島では配布件数 1,258 件（全戸配布）のうち 252 件（回収率：約 20.0%）の回答を得た。

やんばる地域	観点	西表島
50 代以上が 80% 程度 職業：無職、農業、主婦の順に多い	回答者の属性	30 代～60 代が各 20% 程度 職業：観光ガイド、宿泊業の順に多い
約 9.9 %	回収率	約 20.0 %
	遺産登録への意識	
1. 人口減少・少子高齢化 2. 経済活動の低迷 3. ノイヌ・ノネコの多さ	地域の課題 (トップ 3)	1. 海の自然環境の劣化 2. 山や川の自然環境の劣化 3. ゴミの散乱
・貴重な自然や動植物が守られる ・美しい自然が守られる →各々 <b>60%以上</b> の方が期待	世界遺産登録により期待できること	・貴重な自然や動植物が守られる ・美しい自然が守られる →各々 <b>20%程度</b> の方が期待
・観光関連の収益が増える →約 <b>53%</b> の方が期待 ・地域経済の活性化と雇用増 →約 <b>33%</b> の方が期待		・観光関連の収益が増える → <b>70%程度</b> の方が期待 ・地域経済の活性化と雇用増 → <b>40%程度</b> の方が期待

### 調査結果から見た住民意識の現状と課題

#### 沖縄島北部

- ・世界自然遺産登録への関心が低く回答していない無関心層が存在する可能性がある。
- ・アンケートに回答した方の多くは、世界自然遺産への推薦を既に認知していた。
- ・人口減少・少子高齢化及び経済活動の低迷が大きな課題として捉えられている。
- ・世界自然遺産により自然や景色が守られると期待する一方、自然環境劣化や生きものの交通事故、違法採取が増えるという懸念も同程度存在する。
- ・ノイヌ・ノネコの多さが問題であると認識されているため、ノイヌ・ノネコの捕獲等の取組について強化するとともに成果について情報発信し、地域住民の不安を払拭していくことが必要である。

西表島

- ・ 自然環境の劣化が最も重要な課題として認識されている。一方で、世界遺産登録が自然環境の保全につながるとは認識されておらず、期待が薄いのが現状。逆に世界遺産登録によって自然環境の劣化や生き物への影響が増大するという懸念・心配を持つ人が大変多い。
- ・ 観光客が増加することにより、観光施設や生活・交通インフラの不足、住環境の悪化が生じることを懸念している人が多い。
- ・ 地域の知名度が高まることや観光業が潤うことへの期待感はある程度持たれている。

沖縄島北部、西表島ともに、住民の期待や懸念・心配を踏まえた上で、世界遺産登録に向けた自然環境保全等の取組を着実に実施し、その具体的な取組内容や成果について情報発信を行うことが必要であると考えられる。

(2) 普及啓発に関連する事業の取組状況と次年度の予定について

各行政機関や地域団体等が実施する普及啓発に関する事業の取組状況と次年度の予定について、代表的なものは下記のとおりである。

沖縄島北部

実施主体	平成 29 年度実施内容	平成 30 年度実施内容（案）
環境省	<p>「やんばるの自然と遊ぶワークブック」国頭村教職員対象研修を実施                      地元の保育園及び学童に対して、世界遺産に関する簡単な講話を実施                      国頭村及び東村内の小学校と協働でヤンバルクイナの生息状況調査を実施                      ネコの適正飼養に関する普及啓発イベントを実施                      侵略的外来種の防除に関する普及啓発イベントを実施                      地域住民等と連携した侵略的外来種の防除活動を実施                      やんばる国立公園のポスターを作製</p>	<p>国頭村及び東村内の小学校と協働でヤンバルクイナの生息状況調査を実施                      小・中学校のクラブ活動講師、校外学習講師、野外授業講師として普及啓発を実施                      一次産業従事者や観光事業者向けに世界自然遺産の利活用に関する説明を実施                      地元イベントにおいて、普及啓発ブースの出店</p>
沖縄県	<p>一般県民に加えて遺産推薦地の住民へ重点を置き、普及啓発を実施していった。(フォーラム開催、写真展開催、広報誌掲載、地域イベント出展等)                      沖縄島北部 3 村の住民を対象として遺産登録前の意識調査(アンケート)を実施した。                      「やんばる世界遺産だより」を発行し、地域住民への情報発信を行った。</p>	<p>○世界遺産委員会登録発表パブリックビューイングの開催(鹿児島県連携)                      ○登録記念イベントの開催                      ○パンフレットの遺産登録版への更新                      沖縄島北部 3 村の住民を対象として遺産登録可否決定後の意識調査(アンケート)を実施する。                      「やんばる世界遺産だより」を発行し、地域住民への情報発信を行う。</p>
国頭村	<p>のぼりや木製バッジ、懸垂幕等の製作及び村広報誌やホームページを活用し、世界自然遺産登録に向けた機運を醸成した。</p>	<p>グッズ等の製作及び村広報誌やホームページを活用し普及啓発を図る。</p>
大宜味村	<p>県作成のシール及びクリアファイル等</p>	<p>村広報誌や村ホームページにて世界自然遺</p>

	を各字に配布、村広報誌に世界自然遺産に向けた取組を掲載。	産登録に向けた取り組み等を掲載。 登録可否決定後は、その旨村民へ周知。
東村	広報誌やホームページ、横断幕、幟、村や県が作成した機運醸成用ポスターの掲示、県作成機運醸成用パンフレット、クリアファイル等の各世帯への配布。	広報誌やホームページ、幟、横断幕の設置
琉大与那フィールド	沖縄島北部の自然に関する普及啓発や意識の向上に寄与するため、与那フィールドの施設等に他団体の研修・実習等を受け入れた。	「公開森林実習」は継続的に開講する。その他は要望に応じて受け入れる予定

### 西表島

実施主体	平成 29 年度実施内容	平成 30 年度実施内容（案）
環境省	西表島の東部と西部で各 1 回イベントを開催し、70 人が参加。 ポスターやパンフレットの作成及び掲示・配布、その他交通事故防止に関する普及啓発を実施。	夏休み等の長期休暇を利用して野生生物保護センター内にてイベントを開催予定
林野庁西表森林生態系保全センター	船浦・大原中学校及び白浜小学校の学校行事を支援 大原小学校へ新しく赴任した先生への西表島の森林環境についての研修	船浦・大原中学校及び白浜小学校の学校行事を支援 小・中学校へ新しく赴任した先生への西表島の森林環境についての研修
沖縄県	一般県民に加えて遺産推薦地の住民へ重点を置き、普及啓発を実施していった。（フォーラム開催、写真展開催、広報誌掲載、地域イベント出展等） 西表島の住民を対象として遺産登録前の意識調査（アンケート）を実施した。 「西表島世界遺産だより」を発行し、地域住民への情報発信を行った。	○世界遺産委員会登録発表パブリックビューイングの開催（鹿児島県連携） ○登録記念イベントの開催 ○パンフレットの遺産登録版への更新 西表島の住民を対象として遺産登録可否決定後の意識調査（アンケート）を実施する。 「西表島世界遺産だより」を発行し、地域住民への情報発信を行う。
竹富町	西表島島内の各公民館（14 地区）で住民説明会を開催し、世界自然遺産の概要を説明するとともに、意見交換を行った。	世界自然遺産登録の動向に合わせて適宜住民説明会を開催し、新たな情報提供を行う。
西表島エコツーリズム協会	「文化と旅する西表島」パンフレットの配布を行った。 「文化と旅する西表島」ウェブサイトの運営を行った。	「文化と旅する西表島」パンフレットの配布を行った。 「文化と旅する西表島」ウェブサイトの運営を行った。